Intertek Certification Japan Limited Nalued Quality, Delivered. Intertek Certification Japan Limited Nalued Quality, Delivered. Nalued Quality, Delivered.

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

Vol.51 (2016年1月発行)

新年のご挨拶

ふるさわ もと こ オペレーションマネージャー 古沢 幹子

明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し 上げます。本年も皆様により信頼される審査機 関であり続けるよう努力して参ります。

2016年がスタートし、さて今年はどういう年になるか、どういう年にしたいかと年初は気持ちが高まるものです。しかしここ数年を振り返ってみますと、世界のどこかで紛争があり、金融危機に見舞われ、また災害により多くの方々が犠牲になっています。それを考えると今年も何か起こるのだろうか、と不安になるのも仕方のないことのように思います。



ISOはリスク管理のシステムですが、今回のISO9001とISO14001の2015版改訂により、リスク管理がより鮮明になりました。システムを運用されている皆様の会社では今後リスク管理がより高いレベルで求められるようになります。

しかし、リスク管理は企業だけでいいのでしょうか。皆様のご家族、皆様ご自身のリスク管理はどうでしょうか?思いもよらない事故、災害、危機など、今までになかったリスクが自分の周りにどんどん生まれています。2015年版ではトップの関与がより求められていますので、何かあった時にトップの方が「知らなかった!」では済まされません。皆様ご自身も同様のことが言えます。仕事でのリスク管理は完璧だけど、プライベートは...とならないよう、ご家族を守るため、ご自身を守るためにも自分のためのリスク管理を考えてみてください。

備え有れば患い無しということわざもあります。様々なリスクに対応するためにも今年 は公私ともに「リスク管理」をより深く考える年にしてはいかがでしょうか。

CONTENTS

01 新年のご挨拶

02 特集

03 2015年版規格改訂

- -IS09001:2015、IS014001:2015 移行審査のあらまし
- A&Q-

04 News & Topics

- ー世界のISO認証件数が発表
- ーノルメインサム様 GAP普及大賞受賞
- ーインターテックグループCEO来日
- -Information:CEAR講演会開催

05 審査の現場から

- 一お客様紹介
- (株式会社辰巳組) -連載よみもの
- 「審査員の心理」(環境編)

06 連載よみもの

- -審査員リレーエッセイ 「2015年版規格発刊の頃」 (審査員 河本 亮)
- ー環境とIS014001 「ウォーター・フットプリント(2)」

07 お客様からのお便り

- ー「うそのないたまご作り」 (株式会社ホクリヨウ)
- -「電気の安全·安心の確保」 (埼玉県電気工事工業組合)

08 研修コースのご案内

- ーちょっといっぷく
- -コースのご紹介/受講生からのお便り

◆Intertek Newsのバックナンバーは弊社ホームページでご覧頂けます。(http://ba.intertek-jpn.com/) ❖ホームページをリニューアルしました!

- 改訂準備に向けて -

ISO9001:2015、ISO14001:2015

移 行 審 査 のあらまし

QMS認証部スキームマネージャー補佐

堤倫札

昨年9月にISO9001:2015、ISO14001:2015が発行されました。ISO9001:2008及びISO14001:2004の認証を取得されているお客様は、それぞれ2015年版へ移行頂く必要があります。今号では、移行審査の概要についてご紹介します。 (編集部)

2015年版発行

2015年9月15日、ISO9001:2015、ISO14001:2015が発行されました。これにより現在認証を取得されているISO9001:2008、ISO14001:2004共に2018年9月14日に失効することになりました。

そのため、今後、再認証審査を受審されるなどし、新 しい認証登録証明書を発行いたしますお客様のお手 元には、有効期限が2018年9月14日付けの認証登録 証明書が届くことになります。

ただし、弊社のデータベースに、現在の皆様の有効

期限を管理していますので、2015年版への移行審査 を受審頂きました後、従来の有効期限の日付にて 2015年版の認証登録証明書を発行いたします。

伴いまして、皆様には、2018年9月14日までの2015 年版への移行の完了が必要になります。

審査後の処理、及びスムーズな移行のためにも、 2018年3月頃までの移行の完了したく準備を進めてまいります。

移行審査について

移行審査のタイミングですが、現在、定期的に受審 をされている維持審査及び再認証審査と同時のタイミ ングで実施します。

移行の手順は随時更新を行い、2015年版の説明資料と共に弊社ホームページに掲載しています。その中にもありますが、移行審査の受審をご希望の際は、移行審査申請書及びギャップチェックリストのご提出をお願い致します。ギャップチェックリストは、2015年版の構築を開始される際、現在の貴社のシステムとの差分をチェックしていただきたく存じます。

ご提出いただいたギャップチェックリストから移行審 査時の審査の工数を算出いたします。貴社の現在の システムと2015年版とのギャップの度合いから、増加 する必要のある審査工数を算出いたします。お客様 のご状況によって、審査員0.5人日程度の審査工数の 増加が発生する場合がございます。

記載いたしました通り、2018年3月末までの間に、現在認証を行っておりますQMS、EMS合わせて、8,000件以上の認証をスムーズに2015年版への移行を行ってまいります。スムーズな移行のために、弊社といたしましても、審査機関として出来る限りのサポートを行ってまいります。

ご不明点は、弊社各地区営業担当、営業部、また東京 事務所 QMS(ISO9001)/EMS(ISO14001)各認証部 までお気軽にお問い合わせください。

最後に

最後に、今回の規格改訂により、ISOの規格そのものと、私達のMissionでもある、"インターテック・サーティフィケーションは認証を通して、小規模組織の未来に変革と付加価値をもたらすことを理念とし、さらに効果ある審査で継続的改善を促す触媒として役立つ使命を持つ。"が共通する部分が増えたようにも感じます。

新しい規格になりましても貴社に付加価値をもたらす

審査機関を目指してまいります。引き続き、よろしく お願い申し上げます。

堤 倫札 (つつみ とものり)

インターテック・サーティフィケーション QMS認証部スキームマネージャー補佐。 品質・環境審査員。㈱インクスエンジニア リングを経てインターテックへ。自動車関 連設計開発、金型設計開発専門。





2015年版への移行審査に関して皆様からよく頂くご質問についてご紹介いたします。

Question

定期審査(維持審査または再認証審査)で移行審査を受けた場合、認証登録証明書の有効期限はどうなるのでしょうか?

移行審査を受審いただき、承認されたお客様には、新たに2015年版の認証登録証明書が発行され、現在の有効期限の日付がそのまま引き継がれます。維持審査時での移行審査で発行される認証登録証明書も新たにそこから3年の有効期限が設定される訳ではありませんのでご留意ください。

また、移行期限内に2015年版への移行が完了できなかった場合、現行のISO9001:2008、ISO14001:2004の有効期限が移行期限後の日付であっても、移行期限日の2018年9月14日をもって失効し認証が無効になります。移行期限内に必ず移行を完了いただくためにも、余裕をもって2018年3月頃までの移行審査をお奨めします。

Question

当社の内部監査は年1回です。次回、ISO規格の2015年版移行審査を受ける予定なのですが、その前に2015年版による内部監査をしておかなければならないでしょうか?

2015年版への移行審査の際は、2015年版での運用状況を見ますので、その中で2015年版にそって内部監査が行われていることは重要なことです。内部監査そのものに大きな変更はありませんが、2015年版で運用されているかの確認を内部監査で行っている必要があります。もし、移行審査までに定期の内部監査を行う計画がない場合は、貴社のシステムが2015年版に移行できているかに焦点を当てた臨時の内部監査を実施しておいてください。そのためには、現行のシステムと2015年版とのギャップをあらかじめ分析しておくとよいでしょう。同様にマネジメントレビューも、2015年版への移

行に伴う差分(プラスマイナスの微調整)で結構ですので お願いします。

内部監査員の力量、選定には、規格の7.2必要な力量、9.2客観性を確保するための監査員の選定、などが求められています。これらは、適切な文書化した情報を保持しなければなりません。必ずしも外部の内部監査員研修などを受講する必要はありませんが、文書化した情報の例としては、研修の修了証、社内勉強会報告書とその講師の力量を示すデータ、その際に使用したテキストなどが該当するでしょう。

世界のISO認証件数が発表

ISO(国際標準化機構)中央事務局は、世界のISOマネジメントシステム規格(MSS)の認証件数について集計・調査した"The ISO Survey of Management System Standard Certifications — 2014"を公表しました。これは2014年末時点での8つのMSSの認証件数について集計されたもので全体的に持続的成長が見られます。

規格別に見てみると、ISO9001(品質)の認 証総数は188カ国で1,138,155件(前年比 1%増)、国別では日本は4位の45.785件。 ISO14001(環境)の認証総数は170カ国で 324,148件(前年比7%増)。日本は3位の 23,753件となっています。その他規格の認証 総数は、ISO27001(情報セキュリティ)は 23,972件(前年比7%増)、日本は変わらず 第1位。ISO22000(食品産業)は30,500件 (前年比14%増)、ISO13485(医療産業)は 27,791件(前年比8%增)、ISO16949(自 動車産業)は57.950件(前年比8%増)、 ISO50001(エネルギー)は6,778件(前年比 40%増)。また、今回より調査に加わった ISO22301(事業継続)は、地震や火災、ITシ ステム障害、金融危機や疾病など、災害や事 故・事件などに直面した場合に備えて、組織が あらかじめ対策を立案し、効率的かつ効果的 に対応するための事業継続マネジメントシステ ムで、認証総数は51カ国で1,757件。今後の 発展が期待されています。この調査の詳細に ついてはISOのホームページでご覧頂けます。 (http://www.iso.org/iso/iso-survey)

ノルメインサム様(韓国) GAP普及大賞 受賞

弊社のJGAP/GLOBAL GAP認証先である 韓国の営農組合法人ノルメインサム代表 朴 範鎭(パク・ボムジン)氏の取り組みが、2015 年GAP普及大賞を受賞されました。

GAP普及大賞は、アジアGAP総合研究所が主催するのもので、最もGAPの普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。ノルメインサムは、韓国の重要農産品である高麗人参を生産する韓国有数の営農組合法人で、日本を含めた海外への輸出を積極的に行っています。また、GAPの普及活動、農場指導を行っており、韓国論山市指定の「海外認証支援センター」を立ち上げGAP研修会を開催するなど、農作物輸出が重要課題である韓国で、国際的な視点を持ったGAP普及の取り組みが高く評価されました。

インターテックグループ CEO ラクロワ氏 来日

2015年9月11日、インターテックグループの

最高経営責任者(CEO)であるアンドレ・ラクロワ(Andre



タウンホールミーティングにて

Lacroix)氏がインターテック・サーティフィケーション株式会社東京事務所を訪問しました。

ラクロワ氏は、日本のインターテックグループ 全責任者とのリーダーシップチーム会議を開催し、日本の現在の状況についての彼の第 一印象を共有し、当社坂井喜好社長とも今 後のさらなる成長の見通しについて熱い議論 を交わしました。午後には、インターテック全 グループ社員が集う、タウンホールミーティン グを実施しましたが、ラクロワ氏からは、日本 の社員に対し、これまでの活躍と貢献に深く 感謝するとともに、自分の役割について「日本 の長期的な成長を加速するための支援を惜 しまない」ことについて、情熱的に語りました。

ラクロワ氏は、フランス(パリ)で誕生し、西ヨーロッパ、メキシコ、西アフリカ、米国、中東およびイギリス等でのキャリアを積んでおり、日本にも何度も訪れている大変な日本通でもあります。過去には、コルゲート、ペプシコ、バーガーキング、ディズニー、レキットベンキーザー、インチケープ社を飛躍的成長に導く重責を果たされてきましたが、2015年5月16日にインターテックの最高経営責任者(CEO)として着任しています。



ラクロワ氏(最後列中央)を囲んで

INFORMATION

CEAR講演会 開催

弊社審査員も審査員資格を登録している一般社団法人産業環境管理協会・環境マネジメントシステム審査員評価登録センター(CEAR)主催の講演会が、昨年10月に東京と大阪で開催されました。講演会は主にCEARに登録している審査員を対象に年1回以上開催されているものです。今回は「ISO14001:2015の改訂内容について」の内容で行われ、多数の審査員が参加しました。

今回、規格の作成に携われた講師より審査員に、以下のような説明がありました。

· 今回の改訂では重要な変更が行われており、世界の環境政策や環境経営の動向を反映したものであること。

- ・2030年に向けた世界の環境経営の最新動向を十分に認識すること。
- ・審査技術のブラッシュアップ、リスクベース思考とプロセスベースの監査を行うこと。

最後に、「改訂の意図を正確に反映した審査ができるよう、力量の向上を」という期待の言葉がありました。

同様の講演会は一般社団法人日本規格協会マネジメントシステム審査員評価登録センター(JRCA)や、国際審査員登録機構(IRCA)など、他の審査員資格登録機関でもほぼ毎年開催されており、弊社の審査員も参加し、情報の更新や資質の向上に役立てています。

省企 见現場如ら



宝山寺多宝塔:塗装修繕工事施工例

株式会社辰巳組様(奈良県吉野町)は、創業者が大正時代から土木業に従事し、昭和5年に設立された建設会社です。2003年にISO9001を取得、2013年に他審査機関からインターテックに変更されました。この審査機関変更を機にシステムの簡素化にも取り組まれています。

同社の工事部長様は勤続56年、現社長様が生まれた時から当社で活躍されています。昭和34年伊勢湾台風の際には、水没した水力発電所復旧のため、激流の河川を船で横断し、重機もない当時、スコップで作業をされたそうです。

また、昭和36年には、町内業者として初のトンネル工事に取り組み、熊本からの出稼ぎ炭鉱労働者が24時間昼夜

お客様 紹 介

株式会社辰巳組 様

(ISO9001:2008 認証登録)

〔取材者〕審查員 美濃 英雄 Hideo Mino

2交代制で人力による作業を行い、完成に約6年を費やしました。

ここ最近では、宝山寺多宝塔塗装修繕工事や、山中のモノレール設置工事等に従事され、辰巳伊佐子社長は、「創業当初からの『困難な状況でも、積極的に取り組むチャレンジ精神』を忘れずに、今後も地域に貢献する企業として頑張っていきたい。」と話しておられました。



吉野山中: 資材運搬用モノレール

連載よみもの



第18回(環境編)

「法的及びその他の要求事項」(2)

環境主任審查員 大村 敏夫 Toshio Omura

適用される法律が特定できたら、法律の条文から自分の 組織が何をしなければならないかを特定しなければなりま せん。法律の中には努力規定と義務規定があります。努 力規定とは、例えば環境基本法では、第8条で事業者の 責務を規定していますが、「・・・責務を有する。」、「・・・に 努めなければならない。」という表現で具体的なことは規定 していません。これに対して、義務規定の法律では、「・・・ しなければならない。」、「・・・してはならない。」などと、具 体的に規定され、規制値などを示して管理を要求していま す。環境法の調査では、特に義務規定の内容を読み解く ことになります。法律では、業種、設備の種類、規模、地域 などを規定して適用対象を特定しています。組織とその環 境側面が適用範囲のどの項目に該当するかを確認し、適 用される要求事項を特定します。要求事項には規制値を 順守すること以外に、届出、許可が必要なもの、設備の技 術的な基準、管理の基準、記録を要求するもの、責任者 の選任、報告が必要なもの等々、多くの要求事項が規定 されています。これらの要求事項を具体的に把握しなけれ ばなりません。この情報は「参照する」ことが要求され、組

織の人々が参照して理解できるように整理することが望まれます。法律の名称だけでは不充分です。条項番号を引用していても、利用者が法律の本文を参照して読み解かなければなりません。的確、正確さらに簡潔に法的要求事項を整理することが、環境管理システムの運用で一番苦労するところでしょう。

さらに特定した要求事項を「組織の環境側面にどのように適用するかを決定」することが要求されています。この要求事項は該当する環境側面の管理手順に反映され、その管理状況は4.5.2の順守評価で確認されることになります。法的要求事項等と著しい環境側面は「環境マネジメントシステムを確立し、実施し、維持するうえで、確実に考慮に入れること」と規格で要求されています。環境管理システムで管理すべき事項を特定する現状把握のプロセスの一つが法的要求事項を特定することになります。

環境方針では法順守を約束していますので、法律に抵触する事実が発生した場合は、方針からも逸脱していることになります。法順守の体制を確立するためには、法的要求事項を確実に把握することが出発点となります。

審査員リレーエッセイ 49

From

京都府京都市

河本 亮

(かわもと まこと)

Profile

専門分野: ISO9001 · ISO14001 - 印刷、硝子

経 歴:広島硝子工業株式会社、内外カーボンインキ株式会社、 インターテック審査員(現職)



審査員からのエッセイをお楽しみください。

「2015年版規格発刊の頃」

11月20日(金)はISO9001・14001 の2015年版規格日本語訳本出版 予定日でした。早速午前中、私は 快晴の中、自宅から自転車を走ら せ観光客で込み合う京都駅前の 書店2軒を回りました。だが見つか らず、桜紅葉の映える鴨川道を急



ぎ会合に出席しました。翌21日(土)夕方、私は汗に濡れたテニスシャツを着たまま駅前書店に駆けつけました。棚に ぎっしり「2015年規格の解説と参考」の本があり、私は迷わず品質と環境の2冊を買って家に帰りました。だが中身をよ く見ると規格要求事項記載が無いことに気付きました。

翌22日昼過ぎ、私は再度書店へ出向いて返品し、24日が出版予定と聞いて、家の前の道を掃除しました。隣の奥様が出てきて林檎を頂きました。その時ISOの道を新規格で掃き清める日が近くなったことを実感しました。

連載「環境とISO14001」49

「ウォーター・フットプリント(2)

環境主任審査員 郷古宣昭 Nobuaki Goko

1. 仮想水について(前回の要約を兼ねて)

ウォーター・フットプリントは水利用に関する潜在的な環境影響を原材料の栽培、製造加工、輸送・流通、消費、廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体で定量的に評価する手法であることを前回述べました。

私たちは海外からの食糧や身の回りの製 品を通して、間接的に水を消費しているわけ ですが、その量は米国から389億5人、オース トラリアから89億、、カナダから49億、、中 国から22億など計640億なもの水を間接 的に輸入していることになります。前回示し た牛肉の仮想水が大きい(1kg当たり15.5^ト>) のは牛肉飼育に必要な穀物栽培に多量の 水を使用するためです。また、綿シャツ1枚 の仮想水が大きい(1枚につき水2.7%)のは 綿花栽培に多量の水を使用するためです。 国を挙げて綿花栽培に勤しんでいるウズベ キスタンではアラル海が干上がってしまった ことはよく知られています。仮想水の輸入元 である上記の国々は皆「水ストレス」(取水量 ÷自然供給水量)の高い国々であり、このこ とは日本が世界の水需給に悪影響を与えて いると言えるでしょう。

ところで、水の使用による影響は水資源の 枯渇リスクだけではありません。工場等で使用 後、水源に戻した水の「水質汚染」も問題に なり、戻した水のCOD(化学的酸素要求量: 水質指標の一つ)、全チッソ、全リン、有害物 質の濃度如何で様々な影響が出てきます。

2. ISO14046:2014について

昨年、ウォーター・フットプリントの規格が発行されました。LCA(ライフサイクルアセスメント)ISO14040シリーズの一部として登録されました。付図にウォーター・フットプリントの評価の流れを示しています。「水資源の枯渇」や「人の健康への影響」、「生態系への影響」等影響領域を選択すること、測定データの段階での分析と影響評価、結果の解釈を明確に分けていることが特徴です。結局、選択した影響分野ごとの影響評価と影響分野の統合判断が可能です。

一方、欧州のNPOであるウォーター・フット プリント・ネットワークは汚れた排水を水源に 戻した場合は、原水の基準値に戻すための 希釈水を計算し、これをグレーウォーターと 名付け、水消費に加算することを提案してい ます。

3. ウォーター・フットプリントの活用

ISO14046:2014の序文にウォーター・フットプリントの活用法が詳しく記載されています。要は、「水資源に関する潜在的な環境影響を事前評価することにより、水利用に関するリスクマネジメントを実施し、水利用の効率促進を図る」ということでしょう。水消費の立場からはウォーター・フットプリントを意識するとともに、世界的に起こるだろう水不足を緩和するために、節水活動を、特に食糧を通して実施していく必要があると考えます。

次回はCOP21パリ会議の結果について 報告し、解説する予定です。



うそのないたまご作り

株式会社ホクリヨウ (ISO22000:2005、FSSC22000認証登録)

取締役企画部長 進藤 正紀

当社は、鶏卵の生産・製造・販売を一貫して行っている会社です。当社は経営理念で、「品質管理を徹底的に追求し世の中に広く安心して食べていただける製品を提供する」と謳っており、品質管理を徹底することによりホクリョウブランドを確かなものにしていくというのが基本戦略であります。「安心・安全かつ新鮮で履歴もしっかりしている」ことこそがお客さまが求めるたまごと考えます。こういった品質へのこだわりが皆様にご評価頂き、年々販売が拡大、2014年4月には東北岩手県に進出しました。また、「ホクリョウたまご大学」と称し、一般のお客さまを広く募りたまごの製造過程を積極的に公開、目で見てご確認いただくという地道な活動を継続中であります。

そして、品質管理を徹底するために札幌と千歳GP工場でFSSC22000を、北見・帯広・登別GP工場でISO22000を取得し、流通各社からも高い評価を受けておりますが、今後は東北のGP工場での取得を目指します。

「ホクリヨウの製品は安全安心」というブランド力を更に高

め日にを今直をまれる々にも後に重かて愚力でも別れます。



▲ 札幌GP工場

千歳GP工場 🔻



http://www.hokuryo.co.jp/

電気の安全・安心の確保

埼玉県電気工事工業組合 (ISO9001:2008、ISO14001:2004、ISO27001:2013認証登録) 工事部工事課長 美納智次

当組合は昭和25年に協同組合として発足し、現在では 埼玉県内1172社の組合員を擁する組織となり、各種事業 を通じて業界の安定化、改善・発達に尽力するとともに、 お客様の電気の安全・安心を確保しています。

主に、①指導教育(組合員の後継者育成と組合員及びその従業員の技術の向上を図るため、埼玉県認定のS・E・Cセンターで、認定職業訓練を実施)、②情報・資料の収集および提供(機関誌「埼電工広報」を隔月に発行して全組合員に配付することで、電気工事工業界の情報、国・県等の施策、経営・管理、新技術を紹介するほか、メールにより各種情報を定期的に提供)、③一般用電気工作物の調査、④電気工事士免許交付事務委託(埼玉県庁からの委託により第一種・第二種電気工事士免状の新規交付・再交付・書き換えの受付発行業務)、⑤点検業務受託、⑥電気保安管理受託 などの事業に取り組んでいます。

平成14年にISO9001、平成15年ISO14001、平成18年 にISO27001を認証取得し、平成23年には3つのシステム を統合しました。ISO9001では、顧客満足度調査の活用、 ミスをなくす活動などに取り組んでいます。ISO14001では、 省エネ機器の普及や埼玉県農林公社森林局と協力し、秩 父山地を中心に森林ボランティアなどの環境活動などを行

います。ISO27001 では、各種業務に おける個人情報保 護の為の、仕組や システムの構築・改 善の取組みを行い、 お客様の信頼を得 ています。



埼玉電気会館(さいたま市)

http://www.saidenko.or.jp/



年の干支は丙申(ひのえ・さる)。「丙」は輝く太陽を意味しており、 「申」は成熟しさらに完熟に向かって延びるという意味を表すそうで、 明るい未来へのイメージが広がります。

この『申』の字はもともと神を意味していたそうです。『申』は稲妻の形を現し、 稲妻は古代で最も恐れられた自然現象でした。天にいる神の威光をあらわし たものと考えられたため、『申』が「かみ」の意味となりました。また、稲妻は屈 折しながら斜めに走ることから「のびる」や神に願い事などをすることから「も うす」など多義化し、「かみ」以外の意味にも使われるようになったため、神を 祀る祭壇を表す「示=ネ」(しめすへん)を加えて「神」という字が作られました。 今年は、神々を崇める祭典競技を起源とするオリンピックの年。南米初とな

る夏季オリンピックがブラジル・リオデジャネイロで開催されます。リオデジャ ネイロと言えば、リオのカーニバルで有名です。軽快なサンバのリズムで踊 るダンサーたちの華やかで陽気なパレードが浮かびますが、もともとは宗教 行事の一つでした。

カーニバルの歴史は古く、旧ギリシャ・ローマ時代に遡ります。春の到来を 祝う祭りがルーツとされ、このお祭りが17世紀にポルトガル人によってブラジ ルに伝わったと言われています。カトリックのイースター(キリストの復活祭) 前の40日間(四旬節)は禁欲期間とされているため、その前の数日間を開放 的に楽しもうというのがカーニバル(謝肉祭)の由来です。一番のハイライトは、 8万人収容の巨大会場で開催されるサンバスクールのパレードのコンテスト です。毎回各サンバスクールが、歴史的な出来事や伝説などを元に趣向を 凝らした華やかな演出・衣装・踊りで互いに競い合います。多くの観客を魅了 するカーニバルには、昨年100万人近い観光客が訪れたと言われています。 カトリックでは伝統的に陰暦(月歴)を使用しているため、開催期間は毎年変 わりますが、大体2月から3月初旬の土曜日から火曜日までの4日間開催さ れ、今年は2月6~9日に予定されています。ちなみに、祭典の『祭』の字は、 祭壇(示)に肉(月)を右手(又)で供える様子を表したものです。

今年の十二支である「申=サル」は、好奇心と冒険心を象徴し、「申=去 る」から、「悪いことが去る」「病が去る」など厄除けや幸せを運ぶ縁起のよい 動物としても親しまれています。皆様方にとりまして健やかで躍動感溢れる 年になりますよう心よりお祈りしております。本年もどうぞよろしくお願い申し 上げます。(駐日ブラジル大使館HP、白川静氏監修「漢字は楽しい」参照)

研修コースのご案内

内部監査員研修コース

マネジメントシステムの維持・改善のために必須の内部監査。 その知識とスキルを身に付けます。これから導入を予定されて いる企業や、既に導入され更に効果的な運用を目指される組 織の皆様方にもお薦めです。

●内部監査員コース

9001/14001/18001/27001/39001

(2日間)

開催地東京・大阪・富山・金沢・新潟・福井・他

- 対象者 ●品質/環境/労働安全衛生/情報セキュリティ/道路交通 安全マネジメントシステムの導入を予定/検討している
 - ●システムをより効果的に運用したい
 - ●効果的な内部監査を行いたい

審査員研修コース

審査員への最初のステップです。合格すると、審査員補になる 資格が得られます。内部監査リーダーの方にもお薦めです。

- ■ISO9001:IRCA認定 審査員研修コース (5日間)
- ■ISO14001:IRCA認定 移行型審査員研修コース (3日間)
- OHSAS18001: IRCA認定 移行型審査員研修コース (3日間)

開催地東京

- 対象者 ●審査員の目で内部監査を行いたい
 - ●内部監査グループのリーダーに任命された
 - ●将来審査員を目指している



受講牛からのお便り

ISO14001:2004 内部監査員 研修コースを受講して

環境内部監査員コース (2015年6月大阪会場) 受講

朝日生コンクリート工業株式会社 稲崎実香

当社は、生コンクリートの製造・販売を行なって いる会社です。今回、社外研修として環境内部監 査員研修コースを受講させて頂きました。

セミナーの内容は、ただ講師の方の説明を聴く というだけのものではなく、演習問題をテーマと した発表を行なうなどの、実践的なものも多くあ りました。発表に対しては、講師の方にフォロー やアドバイスをしっかりと頂き、有意義な講義と なりました。

最初は、緊張感と聞き慣れない言葉がたくさん あり、戸惑うことも多々ありましたが、分かりやす く噛み砕いて丁寧に説明をしてくださり、より理解 を深めることができ、充実した時間を過ごすこと ができました。今回の研修を生かし、会社に貢献 していきたいと思います。